

令和3年度

ホームヘルプセンター武蔵野



10月

暑かった夏はいつの間にか終わりを告げ、季節はすっかりと秋になりました。

季節の変わり目は寒暖差の影響や気圧の変化によって、体の調子が悪いと感じている方も多いと思います。

コロナの影響もあり精神的なストレスは自律神経の乱れにつながり、体調を崩す原因になります。

食事や適度な運動をすることで血行が促進され自律神経の乱れを防ぐ効果があります。

旬な食材が出てくる季節ですので、美味しい物をたくさん食べ健康に過ごしていきましょう！

事務所からのお知らせ

■ 武蔵野市より「新型コロナ自宅療養者支援事業」を受託しました。

新型コロナウィルスに感染され自宅療養中の市民を対象に、日用品や食料品をお届けする事業です。

武蔵野市が支援する食料品配送と併せ、体調不良時に少しでも食べられるような栄養補給ゼリー・

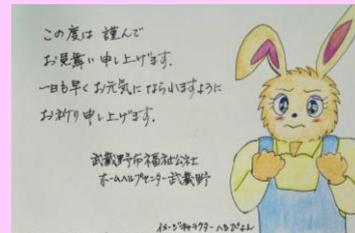
うどん・フルーツゼリー等の軽食セットと、トイレトペーパーや冷却シート等の

日用品セットを福祉公社から直接お届けします。お届けした際、体調確認をすることで少しでも

自宅療養中の不安を軽減することができればと思っております・

9月1日～開始し、1日平均2件～3件受託しています。(武蔵野市より依頼が来るシステムです)

お届け品の中に、ホームヘルプセンターイメージキャラクターへるびよんのイラスト付き励ましメッセージを添えました。



■ 最低賃金改正による、研修費等の金額変更について

令和3年10月1日より東京都の最低賃金が1041円に改正されます。それに伴い以下の賃金が変わります。

・研修費 <現行> 1時間 1,020円 ⇒ <改正後> 1時間 1,044円

・移動費 <現行> 10分 170円 ⇒ <改正後> 10分 174円

※雇用通知(同封)の内容をご確認ください。

※11月支給分の給与より変更となります。(10月実績)

■ 災害用伝言ダイヤル「171」の体験案内

9月の全体研修時にもお知らせしました災害用伝言ダイヤルの体験利用を活用し、災害発生に備えて利用方法を事前に覚えておいていただきますようお願いいたします。

・毎月1日・15日(0:00~24:00)

・正月3が日(1月1日0:00~1月3日24:00)

・防災週間(8月30日9:00~9月5日17:00)

・防災とボランティア週間(1月15日9:00~1月21日17:00)

※NTT東日本「災害伝言ダイヤル171体験利用のご案内」参照

＜10月のヘルパー会議＞

身体介護「共に行う家事援助」について

10/20（水）～配信予定

※会議録を同封しています。

動画を視聴していただき対応について一緒に考えてみてください。

＜10月の全体研修＞

「感染症・食中毒について」

10/20（水）～配信予定

※後日資料を送付いたします。

今月の事故/ヒヤリハット報告

9月の事故ヒヤリハットはおかげさまで1件もありませんでした。

日頃から無理のないケアを行っているか、自己判断になってはいないかを再確認していただき不安や疑問があるケアにおいては、その都度サービス提供責任者に報告・相談していただきますようお願い申し上げます。

訪問介護にもとめられる

服薬状況の把握と
多職種連携による服薬支援

令和3年9月16日
ドレッドノート 株式会社
藤澤 節子

職員による
研修報告です。

※今回の研修はヘルパーの皆様は視聴することができなかったので、資料を同封いたしました。ケアの参考にしてください。

9/16(木)「訪問介護にもとめられる服薬状況の把握と多職種連携による服薬支援」についての研修を受けてきました。

ケア内容に服薬介助、服薬確認という項目がある利用者様は多いと思います。

複数の病気を持っている方も多く、何種類かが一包装になっている薬をカレンダーから取り出し、服用していただいています。何の薬を飲んでいるのかきちんと理解してケアに入っていただろうか？と見直す良い機会となりました。

この研修の中で紹介されていた事例で、なるほどと思った事もありました。

今まで薬は病気を治す為に服用するものと思っていましたが、食事の摂れない人にあえて胃薬を処方して「服薬する為に食事をしてもらおう」という、身体の不調を治す以外の薬の使い方もある事を知り、目から鱗が落ちました。

サービス事業者の中で利用者様との接触時間が長いのがヘルパーであり、変化を一番確認出来る立場である事を改めて自覚し、変化を見つけた時は一早く医療へ繋げる事が大切であり、それが利用者様の命を守る事になるのだと思いました。

サービス提供責任者 瀧澤 千春

★服薬介助のワンポイントアドバイス★

「服用した薬の日付が違った！」「朝用の薬と間違えて昼用を飲ませてしまった！」等の間違いを防ぐための方法です。お薬カレンダーから取り出しすぐに封を切らず、利用者と一緒に日付を確認してから封を切るようにしてください。「〇〇さん。今日は何日ですか？」「〇〇さん今日は〇月〇日です。お薬の日付を一緒に確認してくださいね」等の声掛けを行ってから、服用してもらおうようにしてください。

利用者様の認知機能の低下防止にもつながりますので、必ずこの声掛けをするように習慣づけましょう！